

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	在宅高齢者生活支援事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	65歳以上の方	目的	高齢者へ在宅サービスを提供し、安心して地域で生活することができるように支援する。また、介護保険の補完部分としてのサービスも提供する。			
事業概要	在宅サービス提供により、高齢者の地域における自立支援の一助とするほか、介護保険制度を補完するサービスも提供する。					

事業予算							
会計	01	款項目	03	01	04	大事業 0006 在宅高齢者生活支援事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算額
	直接事業費	6,069		2,016		2,635	3,609
	概算人件費	1,195		1,021		876	918
	トータルコスト	7,264		3,037		3,511	4,527
国庫/県支出金		0		0		0	0
その他		0		0		0	0
R4概算人件費	正規職員			0.2人		918千円	
	再任用職員			人		千円	
	会計年度任用職員			人		千円	
	その他			人		千円	
	合計					918千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
① 避難行動要支援者登録者数（人）	900	900	898	914	886
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 在宅サービスの一助となるよう、各種サービスの周知を行い利用実績に繋がっている。 防災安全課等と連携を図りながら個別避難計画の策定を推進していく。 				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	老人措置事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	65歳以上の方	目的	家庭の事情で在宅生活が困難な自立高齢者を養護老人ホームに、虐待等により入所手続きができない高齢者を特別養護老人ホームに措置する。			
事業概要	高齢者福祉の向上を図るため、社会福祉法人へ措置入所に伴う経費を支給する。					

事業予算							
会計	01	款項目	03	01	04	0002 老人措置事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算額
	直接事業費	3,059		3,039		3,039	3,005
	概算人件費	370		233		228	198
	トータルコスト	3,429		3,272		3,267	3,203
	国庫/県支出金	0		0		0	0
	その他	0		0		0	0
R4概算人件費	正規職員			0.05 人		198 千円	
	再任用職員			人		千円	
	会計年度任用職員			人		千円	
	その他			人		千円	
	合計					198 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
①	-				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	やむを得ない理由で入所しなければならない高齢者の生活環境の改善を図るための事業であるため、必要に応じ適切に対応していく必要がある。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画改訂事業（一般経費）			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民	目的	3年に1度の計画策定のための基礎調査実施のため。			
事業概要	二宮町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画の推進を行う。					

事業予算							
会計	01	款項目	03	01	04	0008 一般経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	R 4 決算額
	直接事業費		345		2,354	0	759
	概算人件費		641		2,234	684	747
	トータルコスト		986		4,588	684	1,506
	国庫/県支出金		0		0	0	0
	その他		0		0	0	0
R 4 概算人件費	正規職員			0.15 人		747 千円	
	再任用職員			人		千円	
	会計年度任用職員			人		千円	
	その他			人		千円	
	合計					747 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 65歳以上の要介護認定者の割合【戦略】（%）	17.6	15.6	16.7	17.1	17.7
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- 3年計画の2年目で、コロナ禍においても感染拡大防止に努め可能な限り事業継続に努めた。
- 高齢化やコロナ禍の影響で要支援認定者が大きく伸びている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	訪問・通所・生活支援サービス事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民・事業者	目的	要支援及び事業対象者への訪問介護、通所介護等のサービスの提供。			
事業概要	介護予防・日常生活支援総合事業（訪問・通所・生活支援サービス）					

事業予算							
会計	0004	款項目	03	01	01	01	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	
直接事業費		54,282		56,622		62,560	67,355
概算人件費		304		273		396	349
トータルコスト		54,586		56,895		62,956	67,704
国庫/県支出金		0		0		0	0
その他		0		0		0	0
R4概算人件費	正規職員			0.07人		349千円	
	再任用職員			人		千円	
	会計年度任用職員			人		千円	
	その他			人		千円	
	合計					349千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
① 介護予防訪問型サービス費（千円/年）	13,301	14,054	13,950	16,468	17,452
② 介護予防通所型サービス費（千円/年）	33,326	40,228	42,672	46,092	49,903

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等

- 適切な事務執行を行っている。
- 要支援認定者数の増に伴い、サービス費は増加傾向にある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	介護予防ケアマネジメント事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民・地域包括支援センター等	目的	要支援及び事業対象者のケアプランの作成。			
事業概要	介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント費。					

事業予算						
会計	0004	款項目	03	01	02	0001 介護予防ケアマネジメント事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算額				
直接事業費		7,428		7,920		8,383
概算人件費		154		203		426
トータルコスト		7,582		8,123		8,809
国庫/県支出金		0		0		0
その他		0		0		0
R4概算人件費	正規職員			0.12人		466千円
	再任用職員			人		千円
	会計年度任用職員			人		千円
	その他			人		千円
	合計					466千円

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
① 介護予防サービス計画費（千円/年）	5,795	7,428	7,920	8,383	8,277
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・適切な事務執行を行っている。
 ・高齢化やコロナ禍の影響で要支援認定者数の増と共に増加傾向にある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	高額介護予防サービス費相当支給事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	介護予防サービスの月上限額を超えた方について、高額介護予防サービス費を給付する。			
事業概要	介護サービス等の利用料が一定の負担を超えた場合に費用を返還するもの。					

事業予算						
会計	0004	款項目	03	01	03	大事業 0001 高額介護予防サービス費相当支給事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算額				
	直接事業費	54		79		139
	概算人件費	104		1,000		98
	トータルコスト	158		1,079		237
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員	0 人		104 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			104 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 高額介護予防サービス費（千円/年）	147	54	79	139	34
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

The scatter plot shows '重要度' (Importance) on the x-axis (3.30 to 4.50) and '満足度' (Satisfaction) on the y-axis (2.40 to 3.60). A red cross is drawn at approximately (4.0, 2.97). Measure 1 is plotted at (4.35, 2.89), which is in the top-right quadrant labeled '重点維持分野'.

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 適切な事務執行を行っている。 今後も対象者への適切な給付に努める。 				

The radar chart shows scores for six criteria: 必要性 (5), 必然性 (4), 緊急性 (4), 実効性 (4), 時代即応性 (4), and 持続可能性 (4). The chart is labeled with '必要性', '必然性', '緊急性', '実効性', '時代即応性', and '持続可能性'.

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	地域支援任意事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●			●	●
事業対象	町民	目的	家族介護支援や成年後見制度の一助。			
事業概要	家族介護支援や成年後見制度普及などの事業にかかわる経費					

事業予算						
会計	0004	款項目	03	03	02	0001 地域支援任意事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	R 4 決算額
	直接事業費	4,625	4,197		4,462	6,287
	概算人件費	690	742		1,239	1,458
	トータルコスト	5,315	4,939		5,701	7,745
	国庫/県支出金	0	0		0	0
	その他	0	0		0	0
R 4 概算人件費	正規職員	0.31 人		1,458 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,458 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① シルバー緊急通報システム設置数（件/年）	151	151	159	178	204
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 シルバー緊急通報システムのサービス及び機能向上に努め、本人及び家族の利便性向上に繋がった。また、在宅生活の一助となるよう今後も終活や成年後見等の普及・啓発に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	地域包括支援センター運営事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	社会福祉協議会	目的	地域包括支援センターの管理運営を行う。			
事業概要	地域包括ケアシステム推進の中核を担う地域包括支援センターの運営。保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士等が連携し、住みなれた地域で効果的な介護予防への取組や必要な支援が受けられるよう行うもの。					

事業予算							
会計	0004	款項目	03	03	01	0002 地域包括支援センター運営事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算額
直接事業費		19,470		18,827		20,992	27,746
概算人件費		351		615		1,164	1,224
トータルコスト		19,821		19,442		22,156	28,970
国庫/県支出金		0		0		0	0
その他		0		0		0	0
R4概算人件費	正規職員			0.25人		1,224千円	
	再任用職員			人		千円	
	会計年度任用職員			人		千円	
	その他			人		千円	
	合計					1,224千円	

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
①	新規相談件数（件/年）	803	803	820	834	969
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等

- ・高齢化等に伴い、要支援認定者や相談件数は年々増加傾向にある。
- ・人員を確保しながら地域包括ケアシステムの推進を図る。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	在宅医療・介護連携推進事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民（介護・医療・行政）	目的	高齢者が在宅で安心して暮らせるよう在宅医療と介護の連携を図る。			
事業概要	医療と介護の支援を同時に必要とする高齢者等の支援が効果的、効率的に行われるように、資源の整理や課題の把握、専門的な相談窓口の設置、住民への啓発活動等を行うもの。					

事業予算						
会計	0004	款項目	03	03	01	0003 在宅医療・介護連携推進事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	R 4 決算額
	直接事業費	3,725	3,681		3,673	3,753
	概算人件費	468	626		564	626
	トータルコスト	4,193	4,307		4,237	4,379
	国庫/県支出金	0	0		0	0
	その他	0	0		0	0
R 4 概算人件費	正規職員	0.14 人		626 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			626 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 相談件数（件/年）	20	20	8	6	4
② 研修会参加者数（人）	111	111	コロナに伴い中止	コロナに伴い中止	111

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と課題の共有や連携を図り住民への普及啓発に努める。 相談窓口の周知や介護・障害サービス利用の優先順位など必要な情報を提供する機会を確保する。 				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	生活支援体制整備事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民、職員	目的	地域包括ケアシステム推進の一環。			
事業概要	地域の課題を地域住民、地域組織、地域の事業所、社協、行政が協働して解決していくための体制作りを進め、少子高齢、人口減少社会でも安心して暮らしていける地域づくりを進めるもの。					

事業予算						
会計	0004	款項目	03	03	01	大事業 0004 生活支援体制整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算額				
	直接事業費	3,265		3,254		3,618
	概算人件費	755		536		984
	トータルコスト	4,020		3,790		4,602
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員	0.22 人		1,037 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,037 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	第1層協議体開催数（回/年）	4	4	1	3	4
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

The scatter plot shows four quadrants: 維持分野 (top-left), 重点維持分野 (top-right), 改善分野 (bottom-left), and 重点改善分野 (bottom-right). A red dot labeled '1' is located in the bottom-right quadrant, indicating a high importance measure with low satisfaction.

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等

- ・2度目の福祉有償運送等運転者講習においては、グループワークを加え移動支援の担い手育成に努めた。
- ・地域の支え合い活動として必要な「ゆるやかな見守り」の推進や移動・ごみ出し支援について検討していく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	認知症総合支援事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民、職員	目的	地域包括ケアシステム推進の一環。			
事業概要	今後ますます増加が懸念される認知症疾患関係患者に対し、早期発見、早期対応できる体制を整えるとともに、認知症の理解を広め、認知症の方やその家族が安心して暮らせる地域づくりを進めるもの。					

事業予算						
会計	0004	款項目	03	03	01	0005 認知症総合支援事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	R 4 決算額
	直接事業費	2,398	2,222		3,099	3,187
	概算人件費	914	596		1,183	1,152
	トータルコスト	3,312	2,818		4,282	4,339
	国庫/県支出金	0	0		0	0
	その他	0	0		0	0
R 4 概算人件費	正規職員	0.24 人		1,152 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,152 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 認知症サポーター養成講座受講者数（人/年）【戦略】	109	109	35	552	327
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 地域包括ケアシステムの構築	4.35	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 ・サポーター養成講座や当事者の講演会を実施し、認知症への理解促進を図りステップ講座等も開催した。
 ・アンケート結果から町民ニーズを把握し、今後の啓発活動等に繋げていきたい。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	高齢者祝金事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●		●	
事業対象	88歳、100歳	目的	高齢者の長寿を祝う。			
事業概要	高齢者の長寿を祝うための祝金などを支給する。					

事業予算						
会計	0004	款項目	03	01	04	0004 高齢者祝金事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	R 4 決算額
	直接事業費	3,293	4,192		3,559	3,908
	概算人件費	326	273		392	403
	トータルコスト	3,619	4,465		3,951	4,311
	国庫/県支出金	0	0		0	0
	その他	0	0		0	0
R 4 概算人件費	正規職員	0.1 人		403 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			403 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 88歳祝金支給者数（人）	155	155	200	168	185
② 100歳祝金支給者数（人）	7	7	3	4	9

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	生きがいづくりと社会参加の促進	3.99	3.01
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
成果・課題等	・コロナの感染症拡大防止を考慮し、100歳の対面希望者には町長より手渡し、それ以外は郵送とした。 ・高齢福祉を取り巻く環境や社会情勢は近年変化しているため、引き続き事業の見直し・検討を行う。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」

※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	高齢者団体育成経費			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	高齢者団体	目的	高齢者団体の育成・支援。			
事業概要	高齢者に対する生きがい活動を推進している団体に補助金を支出し、地域福祉の活性化を図る。					

事業予算							
会計	0004	款項目	03	01	04	0003 高齢者団体育成経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算額
	直接事業費	6,840		6,794		6,622	6,495
	概算人件費	467		428		506	316
	トータルコスト	7,307		7,222		7,128	6,811
国庫/県支出金		0		0		0	0
その他		0		0		0	0
R4概算人件費	正規職員	0.11人				316千円	
	再任用職員					千円	
	会計年度任用職員					千円	
	その他					千円	
	合計					316千円	

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
①	シルバー人材センター会員数（人）	176	176	174	183	173
②	ゆめクラブ会員数（人）	1,350	1,350	1,219	1,109	1,056

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	生きがいづくりと社会参加の促進	3.99	3.01
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等

- ・会員増強策を講じてはいるが退会者数の方が上回る。
- ・今後の団体のあり方について、引き続き情報交換を行いながら検討を促していく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	高齢者福祉施設等関係経費			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	施設管理	目的	高齢者関係施設等の適切な維持管理。			
事業概要	町内各個所にある、高齢者関係福祉施設及び福祉ワークセンターの維持管理の経費。					

事業予算						
会計	0004	款項目	03	01	04	大事業
			R1決算額（千円）		R2決算額	
			R3決算額		R4決算額	
		直接事業費	2,704	2,394	5,827	15,901
		概算人件費	377	531	752	788
		トータルコスト	3,081	2,925	6,579	16,689
		国庫/県支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
R4概算人件費		正規職員	0.17人		788千円	
		再任用職員	人		千円	
		会計年度任用職員	人		千円	
		その他	人		千円	
		合計			788千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	生きがいづくりと社会参加の促進	3.99	3.01
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等
 平成7年竣工後の経年劣化に伴う屋根や外壁のシーリング・塗装・防水工事等を行い、福祉ワークセンターの長寿命化を図った。今後も、ゲートボール場を含め、定期的に管理を行う必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	介護予防普及啓発事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民、職員	目的	介護予防普及啓発事業全般に係る事務経費等。自動車の維持経費も含む。			
事業概要	介護予防・日常生活支援総合事業。					

事業予算						
会計	0004	款項目	03	02	01	大事業 0001 介護予防普及啓発事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算額				
	直接事業費	269		65		187
	概算人件費	416		384		1,259
	トータルコスト	685		449		1,446
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員	0.27 人		1,327 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,327 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくりと介護予防の促進	4.10	3.05
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等

- 適切な事務執行を行っている。
- 介護予防サポーターの増員及びスキルアップを図った。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	地域介護予防活動支援事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	町民、事業者	目的	地域の通いの場運営及び健康運動指導士派遣による介護予防の一助。			
事業概要	介護予防・日常生活支援総合事業。					

事業予算						
会計	0004	款項目	03	02	01	大事業 0002 地域介護予防活動支援事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算額				
	直接事業費	3,653		3,253		2,158
	概算人件費	1,956		1,593		1,962
	トータルコスト	5,609		4,846		4,120
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R4概算人件費	正規職員	0.45人		2,010千円		
	再任用職員			千円		
	会計年度任用職員			千円		
	その他			千円		
	合計			2,010千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
① 地域の通いの場の参加者数（延べ）【戦略】	13,617 (7,000) ()はコロナ想定	13,617	(2,253)	(4,033)	(7,801)
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくりと介護予防の促進	4.10	3.05
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	・デジタルDXに向けた取り組みの一環として、シニア向けスマホ教室を実施した。 ・担い手養成講座を開催し、通いの場や介護予防サポーターなど高齢者活動への理解・支援者を増やした。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」

※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	介護保険居宅サービス支援事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	
事業対象	町民、事業者	目的	介護サービス利用者のうち、低所得者への軽減補助を行う。軽減をしたことにより、その補填を事業者に行う。			
事業概要	介護保険利用者の中で、低所得者への軽減補助を行い、サービスの適切な運用を補助する。					

事業予算							
会計	0001	款項目	03	01	04	大事業 0001 介護保険居宅サービス支援事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算額
	直接事業費	10		0		44	0
	概算人件費	313		157		295	313
	トータルコスト	323		157		339	313
	国庫/県支出金	0		0		0	0
	その他	0		0		0	0
R4概算人件費	正規職員			0.01人		313千円	
	再任用職員			人		千円	
	会計年度任用職員			人		千円	
	その他			人		千円	
	合計					313千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	□	■	□

成果・課題等
 対象者は現在居ないが、介護保険制度における低所得者支援対策として必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	高齢者緊急時対応経費			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	65歳以上	目的	身寄りのない高齢者への緊急時の対応を図る。			
事業概要	特に身寄りのない高齢者の緊急時の対応にかかる経費。					

事業予算						
会計	0001	款項目	03	01	04	大事業 0007 高齢者緊急時対応経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算額				
	直接事業費	0		0		0
	概算人件費	207		235		50
	トータルコスト	207		235		50
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員	0.72 人		52 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			52 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	適切な業務遂行を行った結果として、執行には至らなかった。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	保険給付費事業 ※審査支払手数料支払事業を除く			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民、事業者	目的	要支援・要介護認定を受けた方に対してサービス提供を実施する。また、月上限を超えた方に対して給付する。			
事業概要	サービスに係る給付を行う。					

事業予算						
会計	0004	款項目	02	01	01	0001 介護サービス等諸費給付事業
		R1決算額（千円）	R2決算額		R3決算額	R4決算額
	直接事業費	2,289,311	2,357,886		2,436,401	2,471,428
	概算人件費	2,225	1,118		4,291	4,739
	トータルコスト	2,291,536	2,359,004		2,440,692	2,476,167
	国庫/県支出金	0	0		0	0
	その他	0	0		0	0
R4概算人件費	正規職員	0.19人		4,739千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			4,739千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
① 保険給付費（千円/年） ※手数料を除く	2,431,540	2,289,311	2,357,886	2,436,401	2,471,428
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	介護保険法・制度に則り、適正な運用及びサービス給付を図っている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	介護認定調査等事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	介護認定に伴う調査の実施すると共に医師意見書を取得する。			
事業概要	介護保険認定に関する事前調査の経費					

事業予算							
会計	0004	款項目	01	03	02	0001 介護認定調査等事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算額
	直接事業費		13,795		12,850	15,352	17,009
	概算人件費		9,613		10,798	9,162	10,205
	トータルコスト		23,408		23,648	24,514	27,214
国庫/県支出金			0		0	0	0
その他			0		0	0	0
R4概算人件費	正規職員			0.88人		3,137千円	
	再任用職員			人		千円	
	会計年度任用職員			4人		7,068千円	
	その他			人		千円	
	合計					10,205千円	

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
①	認定者数(人/年)	1,616	1,543	1,680	1,726	1,778
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等

- ・介護保険法・制度に則り、適正な運用及びサービス提供が図れている。
- ・高齢化等に伴い介護サービス利用申請者が増えているため、調査件数が増大している。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	介護認定審査会運営事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	毎週金曜日に審査会を開催し、介護申請をしたものに対し、介護度を決定する。			
事業概要	介護保険認定審査に係る経費。					

事業予算						
会計	0004	款項目	01	03	01	0001 介護認定審査会運営事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
	直接事業費	5,593		5,277		5,473
	概算人件費	4,557		1,218		3,315
	トータルコスト	10,150		6,495		8,788
国庫/県支出金	0		0		0	
その他	0		0		0	
R4概算人件費	正規職員	1.04人		4,882千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			4,882千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
①	認定者数(人/年)	1,616	1,543	1,680	1,726	1,778
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが高満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等

- ・介護保険法・制度に則り、適正な運用及びサービス提供を図るため実施する必要がある。
- ・介護保険認定審査会の人材及び審査会開催回数の確保が必須である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	介護保険料賦課徴収事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	
事業対象	町民	目的	介護保険料の賦課を行い、納付書等を発送する。また、滞納者には督促状等を発送する。			
事業概要	保険料の徴収に関する経費。					

事業予算						
会計	0004	款項目	01	02	01	0001 介護保険料賦課徴収事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算額				
	直接事業費	1,548		1,082		1,293
	概算人件費	3,678		3,047		3,002
	トータルコスト	5,226		4,129		4,295
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R4概算人件費	正規職員	0.82人		4,180千円		
	再任用職員			千円		
	会計年度任用職員			千円		
	その他			千円		
	合計			4,180千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
① 徴収率（現年課税分：％）	99.6	99.6	99.7	99.6	99.7
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 介護保険事業を推進していくために必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	介護保険運営協議会等事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	
事業対象	町民、委員	目的	介護保険運営協議会等を開催し、二宮町の介護保険事業について協議する。			
事業概要	介護保険運営協議会委員に係る経費。					

事業予算						
会計	0004	款項目	01	05	01	0001 介護保険運営協議会等事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	R 4 決算額
	直接事業費	223	130		0	105
	概算人件費	1,041	837		612	677
	トータルコスト	1,264	967		612	782
	国庫/県支出金	0	0		0	0
	その他	0	0		0	0
R 4 概算人件費	正規職員	0.17 人		677 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			677 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 開催数（回/年）	2	2	4	2	2
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等 介護保険事業を推進していくために必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	介護保険運営事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民、職員	目的	介護保険事業全般に係る事務経費等。職員の旅費も含む。			
事業概要	介護保険運営に関する事業経費。					

事業予算						
会計	0004	款項目	01	01	01	0001 介護保険運営事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	R 4 決算額
	直接事業費	3,240	5,742		4,531	3,570
	概算人件費	1,725	1,194		1,009	690
	トータルコスト	4,965	6,936		5,540	4,260
	国庫/県支出金	0	0		0	0
	その他	0	0		0	0
R 4 概算人件費	正規職員	0.09 人		690 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			690 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等 介護保険事業を推進していくために必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	介護保険趣旨普及事業			所管課	高齢介護課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民	目的	介護保険制度のパンフレット等を購入し、窓口で制度の説明に利用したり、年齢到達時に送付することにより、趣旨普及に努める。			
事業概要	介護保険の制度普及を図る。					

事業予算						
会計	0004	款項目	01	04	01	大事業 0001 介護保険趣旨普及事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算額				
	直接事業費	397		366		418
	概算人件費	376		161		95
	トータルコスト	773		527		513
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員	0.01 人		26 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			26 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	第1号被保険者数（人/年）	9,690	9,779	9,878	9,892	9,822
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	充実した介護サービスの提供	4.36	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
成果・課題等	介護保険事業を推進していくために必要である。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			